

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルル ちいさいうち		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 18日 ～ 2025年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 2月 18日 ～ 2025年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	児童一人一人が自己決定し、活動に取り組む事が出来るように支援をしている。自己決定が難しい子には、選択肢を提示、こだわりの強い子には、少しずつ活動の幅が広がるよう、支援をしている。	決められた枠の中で自己決定し、活動を楽しむためには、様々な努力や工夫、協力が求められる。子ども同士や、児童と支援員が人として対等な立場でお互いを尊重しあい、お互いに楽しく活動に取り組めるよう、日々の活動の中でヒントや手本を示す工夫を検討する。
2	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	こどもや保護者からの相談や申し入れについては、児発管に集約し、担当者によって回答にばらつきや対応の違いが出ないよう、注意をしている。また、報告や周知は速やかに行うよう、対応している。	こどもや保護者からの相談や申し入れについては、個別に対応が必要なものと、事業としての対応が必要なものがある為、引き続き一元管理を行い、対応・報告に迅速に取り組む。
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等の危機管理については、いかなる場合でも「子どもとスタッフの安全」を第一にマニュアルの作成・周知を実施している。	緊急時の対応は、臨機応変な判断と実行が求められるため、引き続き機会を設けて周知・訓練に取り組む。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	多機能型の為、午前利用の未就学児と午後の利用児童の送迎があるため、支援員が揃う時間帯を確保する事が難しい。	指導員の気づきにつながるようなモデルを現場で提示できる取り組みや工夫を検討し、実践する。また、一人一人の支援のポイントを、適切なタイミングで児発管から現場に伝えられるような仕組みを検討する。
2	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	上記の理由により支援員が揃う機会を確保する事が難しいため、情報共有ボードを活用しているが、活用方法の検討が必要。	支援の振り返りと、次につながる支援方針を共有できる仕組みを引き続き検討する。
3			